

# やさいレポート（令和8年7月号）



# だいこん



発行日：令和8年7月7日

## 1. 卸売価格の動向

○147 円/kg（7月4日）

➢ 平年比：131%

○7月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

## 2. 小売価格の動向

○200 円 /kg

（6月12日全国平均）

➢ 前月比：104%、平年比：99%

➢ 東京：233 円（1本）

➢ 大阪：270 円（1本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：4/20（前月5/20）

➢ 大阪：1/10（前月1/10）  
（機構調べ）

## 3. 家計消費動向

○238g/人（5月全国平均）

➢ 前月比：96%

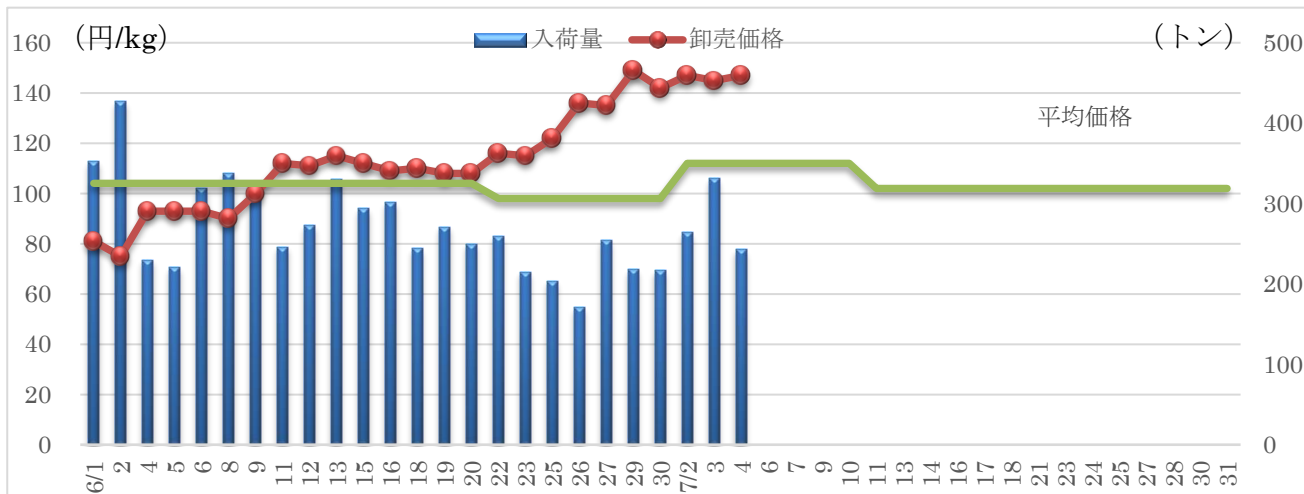
➢ 前年同月比：95%

○3,417g/人（2025年年間）

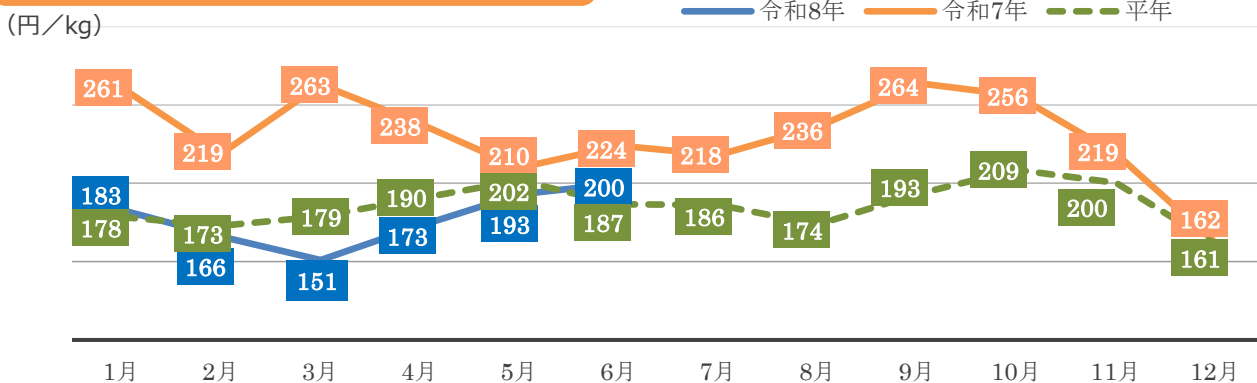
➢ 前年比：100%

（総務省統計局家計調査）

## 4. だいこんの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



## 5. だいこんの小売価格の推移



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県おいらせ (6/5)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。( )内は調査日。

(機構調べ)



青森県おいらせ：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (7/4~7/31)

週別の天候				
7/4~7/10	北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。			
7/11~7/17	北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
7/18~7/31	北日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

## 8. 輸入動向 (生鮮その他根菜類) ※にんじん・かぶ・ごぼうは除く

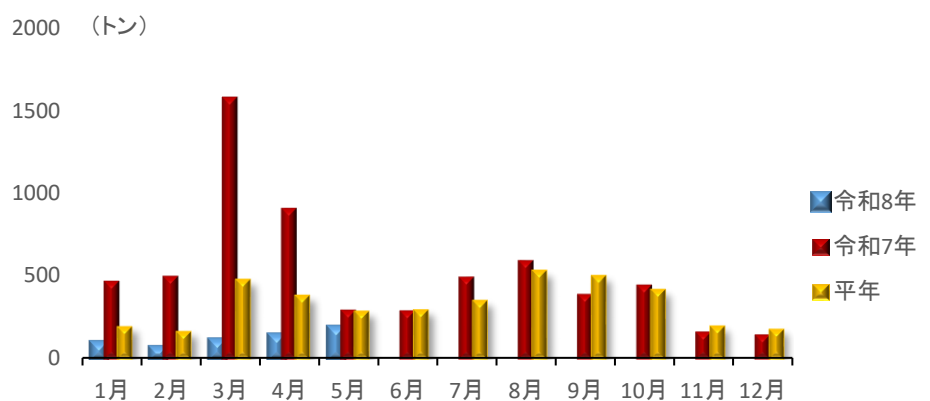
○174トン (5月輸入量)

➢ 前年同月比：61%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 158トン
- 2位 豪州 8トン
- 3位 オランダ 6トン

(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

6月は、青森産主体の入荷となった。産地によってはにんじんの作業と重なったり、降雨の影響で出荷が減少したことなどから、上旬の価格は平年を下回っていたが、旬を追うごとに上昇して下旬は平年を上回った。

7月は、青森産に加えて北海道産も増量される。両産地とも生育順調で、出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課